

平成17年 6月 9日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

6月定例所長会見における千野所長挨拶内容

I A E A (国際原子力機関) O S A R T (運転安全調査団) の評価報告について

当所は、発電所の運転管理状況や運営上の安全性などについて、国際的な基準に基づく客観的な評価を受けることを目的とし、昨年11月1日から17日の期間、I A E A - O S A R T の受け入れを実施しました。

このO S A R T は、世界13カ国・16名の原子力分野の専門家で構成された評価チームです。

滞在期間中には、当所職員へのインタビュー、現場観察、書類調査などを通じて精力的な評価活動が行われました。

このたび、I A E A から、経済産業省原子力安全・保安院を通じて、O S A R T の評価に関する報告書を受領し、公表の手続きが整いましたので、概要をご報告させていただきます。

総括的には、「プラント運転上の安全性改善に非常に熱心かつ固い決意をもって取り組んでいる」との評価をいただきました。

さらに、良好な分野として「発電所の設備状況」、「協力企業との長期的な協力関係」、「地域からの信頼を高めるための広範な取り組み」などが評価されております。

併せて、発電所の安全性をより一層向上していくための視点から、改善推奨事項として「安全管理に関する様々な取り組みを整理、体系化し、効果的かつ効率的に実施すること」や「予防保全に関する活動を系統的に評価すること」などの提案をいただきました。

また、来年5月頃には再度、評価チームによるフォローアップ訪問を受け、今回提案いただいた事項に対する改善取組状況について確認を受ける予定です。

当所としては、O S A R T の評価は、既に取り組んできた改善活動が認められたものと考える一方で、提案いただいた改善推奨事項を真摯に受け止め、改善プログラムに適切に反映していくことにより、安全・安定運転に一層努めてまいります。

環境月間について

今月(6月)は環境月間です。今年は、2月に京都議定書が発効されたこともあり、従来にも増して地球温暖化に対する関心が高まってきております。そうしたことから、今年度の「T E P C O 環境月間」においては、全社的な取り組みとして、

CO₂排出量が大幅に増えている家庭用分野をターゲットとした省エネ勸奨活動を展開し、お客さまとともに地球温暖化防止に取り組むこととしております。

当社では、京都議定書の目標達成のためには、家庭用分野での省エネに加え、地球温暖化の主な原因であるCO₂を排出しない原子力発電所の安全・安定運転が大変有効であると考えております。

2003年度は当社における原子力の設備利用率が約26パーセントにとどまりましたが、2004年度は順次プラントを再起動することができ、約62パーセントまで回復しました。これにより、昨年度の当社全体でのCO₂排出量は、一昨年度との比較で、約1,800万トンの減少となりました。これは、一般家庭約500万世帯の年間排出量に相当する削減となります。

このうち、当所が果たしたCO₂削減効果を見ると、実際の電源の運用状況とその数値が大きく異なるため一概には言えませんが、当所の設備利用率が、一昨年度は32パーセント、これが昨年度は約76パーセントに向上し、発電電力量としても230億kWhから約550億kWhへとそれぞれ伸びたことから、その結果、当所の発電電力量の増加によるCO₂削減効果を試算すると約1,300万トンの削減効果があったということになります。

当社では、2010年度のCO₂排出原単位を、1990年度と比較して20パーセント低減することを自主目標として掲げております。引き続き、原子力発電所の安全・安定運転に努めるとともに、CO₂排出量削減に取り組んでまいります。

また、当所の環境月間における取り組みですが、今年度は「花と緑を地域の皆さまへ」と題し、地域の環境に潤いと豊かさをもたらすべく、発電所構内および周辺地域の緑化や美化活動を展開してまいります。

今丁度、この時間にも、当所職員と協力企業職員約100名により、発電所周辺の海岸や道路の清掃を実施しているところです。

昨年、同様の清掃を実施しておりますが、トラック3台分のゴミと多くの漂着物（漁網、浮き、ロープ等の漁業系廃棄物）を回収いたしました。

以上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成17年6月)

平成17年6月9日

発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
1号機 1,100MWe (S60.9.18運開)	運転中	第13回 H14.9.3 ~ H16.5.14 停止期間 H14.9.3 ~ H16.4.8 (584日) (原子炉起動H16.3.27)													[1号機] ・6月14日から第14回定期検査を開始する予定。
2号機 1,100MWe (H2.9.28運開)	運転中	第10回 H15.3.10 ~ H16.8.3 停止期間 H15.3.10 ~ H16.7.2 (481日) (原子炉起動H16.6.28)													[2号機] ・使用済燃料貯蔵プール、リラッキング工事(第一期)中。
3号機 1,100MWe (H5.8.11運開)	運転中	第8回 H17.1.18 ~ H17.6.8 停止期間 H17.1.18 ~ H17.5.13 (116日) (原子炉起動H17.5.10)													[3号機] ・6月8日に経済産業省の総合負荷性能検査に合格し、営業運転を再開。
4号機 1,100MWe (H6.8.11運開)	運転中	第8回 H16.8.7 ~ H17.4.20 停止期間 H16.8.7 ~ H17.3.25 (231日) (原子炉起動H15.7.22)													
5号機 1,100MWe (H2.4.10運開)	運転中	第10回 H15.3.1 ~ H16.6.4 停止期間 H15.3.1 ~ H16.4.30 (427日) (原子炉起動H16.4.27)													
6号機 1,356MWe (H8.11.7運開)	運転中	第6回 H16.7.10 ~ H16.11.10 停止期間 H16.7.10 ~ H16.10.15 (98日) (原子炉起動H16.10.12)													
7号機 1,356MWe (H9.7.2運開)	第6回定期検査中 H17.3.1 ~	第5回 H15.9.23 ~ H16.2.18 停止期間 H15.9.23 ~ H16.1.19 (119日) (原子炉起動H16.1.16)													[7号機] ・第6回定期検査中

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」。

発電所設備利用率(%) (5月末現在)

5月	78.3%
17年度累計	74.6%
運転開始後累計	77.7%

発電所発電電力量(MWh) (5月末現在)

5月	4,780,926
17年度累計	8,973,870
運転開始後累計	692,836,362

ドラム缶発生量(本) (H16年度第4四半期)

当期発生本数	931
貯蔵庫累積貯蔵本数	14,144
貯蔵庫保管容量	30,000

使用済燃料貯蔵体数(体) (H16年度第4四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	10,980
使用済燃料貯蔵プール管理容量	15,977
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	21,541

構内従業員データ (6月1日現在)

従業員数 (人)	東京電力	1,017	
	協力企業	3,610	
	合計	4,627	
協力企業 地域別比率	県内	柏崎市	59%
		刈羽村	7%
		その他	16%
		小計	82%
	県外	18%	
協力企業社数(社)		421	

来客情報 (5月末現在)

	5月(人)	年度累計(人)
地元	1,278	2,446
県内	3,002	5,252
県外	2,604	4,258
国外	25	64
合計	6,909	12,020

今後の主なスケジュール

予定日	内容
6月13日	ヒューマンエラー防止大会
6月14日 ~ 16日	第2回柏崎シネマ映画まつり(柏崎シネマ)
7月14日	次回定例所長会見予定
7月14日	はじめてのヨガ教室(カムフィー)
7月22・23日	第111回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)
7月16日 ~ 8月31日	サービスホール夏休みイベント(サービスホール)

テレフォンサービス 0180-99-2277
 インターネットホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/kk-np/>

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)